

第3回 SPARC Japanセミナー 2013

オープンアクセス時代の
研究成果のインパクトを再定義する:

再利用と Altmetricsの現在

平成25年10月25日(金) 10:00~17:00
国立情報学研究所 12階 1208,1210会議室
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

司会進行: 西園 由依
(鹿児島大学附属図書館 / DRF)

講師 (予定)



池内 有為
(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科)

Mark Hahnel (Founder, figshare)

Jason Priem (Cofounder, ImpactStory)

坊農 秀雅
(ライフサイエンス統合データベースセンター)

大園 隼彦 (岡山大学附属図書館 / DRF)

パネルディスカッション(予定)

講師らをパネリストとした
パネルディスカッションを行います。

モデレータ: 林 和弘
(科学技術・学術政策研究所)

※参加申込
方法・申込
先について
は裏面をご
覧ください。



ImpactStory.

主催: SPARC Japan (国立情報学研究所)

概要

昨今、“Open Access = Access + Reuse”の定義のもと、欧米では論文への障壁無きアクセスのみならず、論文データの再利用の議論が盛んになっています。また、論文だけでなく、研究データのOA化を義務付ける動きが著しい状況です。一方、オープンになった論文、データに対し、ソーシャル上での反応など、論文の被引用数といった従来の評価指標とは異なる手法によってその影響度を測る“Altmetrics”も注目されています。

そこで今回のSPARC Japanセミナーでは、今年のOpen Access Weekのテーマである“Redefining Impact”とも呼応しながら、研究成果のインパクトについて焦点を当て、今後の多様な学術情報流通の展望ならびに課題について議論してみたいと思います。

国内からは、研究データ管理について造詣の深い池内有為氏、研究者の立場から坊農秀雅氏、大学図書館の立場から大園隼彦氏、海外からは、figshare (*1) 創設者 Mark Hahnel氏、ImpactStory (*2) 共同創設者の一人 Jason Priem氏をお招きし、それぞれご講演を頂く予定です。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

*1 figshare : 図表や研究データ等あらゆる研究成果の公開・共有の場を提供する代表的なプラットフォームのひとつ。

<http://figshare.com/>

*2 ImpactStory : Altmetricsを提供する代表的なサービスのひとつ。<http://impactstory.org/>

参加申込方法

参加を希望する方は、氏名・所属・連絡先をご記入の上、件名を【第3回SPARCセミナー参加申込】として、電子メールまたはFAXにて下記宛にお申込ください。折り返し【受付票】を返送しますので、当日ご持参ください。

※ご連絡いただいた個人情報は、今後のセミナーのご案内と開催変更等の緊急連絡に使用いたしますのでご了承ください。

お申込・お問合せ先

国立情報学研究所 学術基盤推進部

学術コンテンツ課支援チーム SPARC担当

E-mail: co_sparc_all@nii.ac.jp FAX: 03-4212-2375

セミナーサイト:

<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2013/20131025.html>

申込期限

平成25年10月22日 (火)

主催：SPARC Japan (国立情報学研究所)